



コロナ禍のため研修会の開催が困難な今日、会員の皆様の衛生管理活動の推進にお役に立てればと行われた、幹事会の報告を致します。
 幹事会では、アンケート結果を受け来年の活動を中心に話し合いました。



衛生管理者研究会 第2回幹事会報告

日時 令和3年12月20日(月) 14:00～

場所 金沢勤労者プラザ201会議室

出席者	R B コントロールズ(株)	倉元 昭彦	賀谷セロファン(株)	田中 利充
	白山工業(株)	西村 学	サンコー企画(株)	藤原 寛
	(株)トランテックス	小倉 武史	(株)金沢シール	島津 弘之
	真柄建設(株)	島 直人	顧問(前代表幹事)	竹口 彰夫
	津田駒工業(株)	田中 直美		

6月にオンラインで行われた幹事会から6か月が経ち、倉元新代表幹事のもとコロナも落ち着いた頃合いを見計らって対面で行われました。

オンラインは感染症対策や移動・時間の効率化は良いですが、やはり直接顔を合わせての話し合いは意思疎通や親しみを得るうえでも大切だと感じました。

新幹事の島津氏の紹介があり、島津氏は中小企業に所属し、良き企業経営には良き健康管理が必定との信念で取り組んで来られ、この経験を衛管研の戦力に活用したいと、竹口前代表が招聘しました。



本題の冒頭、倉元代表幹事よりフレッシュな挨拶があり、会員向けに行ったアンケートに沿って始まりました。

議題①「安全衛生優良企業公表制度講習会開催」の結果について

- ★結果は「講習会を希望しない」や「参加不可」が「参加したい」を上回った
 - この制度を知ることによって健康経営のためにすべき知識を得ることができる意図で開催しようとしたが、説明不足だった。
 - 開催の意図を詳しく説明し、今後開催しても良いのではないか
 - 「安全衛生優良企業公表制度」は認定基準が難しいので敬遠したのではないか
 - 会員には健康や衛生に関する課題はあるが、安全については関連が薄いと否定的な回答が多かったのではないか。業種別にアンケートを集計したら良いのではないか

議題②「ポストコロナ研修」アンケート結果について

- ★結果は「参加したい」と「参加不可」「希望しない」が半々。
→感染症の専門家の講師はいるがポストコロナについて明確な回答の期待に繋がらない
- すべての会員は気にはなっているが、こと衛生管理者研究会に限ったことではなく、国や行政や経営者協会などが全視野的に行うことでないか



議題③幹事会の定例開催について

- ★今までは予定を伺いながらの随時開催でしたが、3、6、9、12月を基本定期開催することにしていきます。

議題④健康経営の推進に関する取組みについて

- ・倉元氏が「健康経営 レベル別取組」表のベースを作成し、幹事の意見を取り入れたものに改良し、推進のバックボーンにする。
- ・「健康経営」は規則や義務化されたものではないが、経営者の理解のもとそれぞれの会員企業が課題に沿って、可能なことから取り組んで行くという基本的な捉え方を尊重して行くこととした。併せて、幹事企業の取組み報告等がありました。
- ① 島氏→建設業は現場でそのトップが安全衛生を管理し、衛生管理者は主に人事部に所属し温度差の、乖離が見られる。
- ② 小倉氏→アンケートの結果が衛管研への関心度を示して居るのではないかと。緊急性がないため重要視されない。
- ③ 田中直美氏→衛生管理者に興味を持ってもらうためにメールマガジンに動画を貼り付けたらどうか。衛生管理者の資格取って基礎的な知識は得ているがその後活かせていない。
- ④ 田中利充氏→興味を持ってもらうためにも発信内容の質を増やしたらよいのではないかと。
- ⑤ 藤原氏→社長の合意や理解を得つつ、従業員個々の意見も取り入れ、全社を巻き込んで行く。また、自ら必要な研修にも参加し、理論武装しつつ着実に成果に繋がられた。

サンコー企画 HP はこちら

[健康経営 | サンコー企画株式会社 \(sanko-kikaku.com\)](http://sanko-kikaku.com)

- ⑥ 島津氏→経営戦略の見直しをしていたところ、健康経営の理念と合致し健康経営の積極的取り組みを図っている。

金沢シール HP はこちら

[株式会社金沢シール：健康経営 \(kanazawaseal.co.jp\)](http://kanazawaseal.co.jp)

